



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 フィールズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2767 URL http://www.fields.biz/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 高志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 畑中 英昭 (TEL) 03-5784-2111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	71,628	144.3	2,168	—	2,195	—	779	—
27年3月期第3四半期	29,317	△45.9	△6,599	—	△5,633	—	△3,215	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,083百万円(—%) 27年3月期第3四半期 △3,476百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	23.49	—
27年3月期第3四半期	△96.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	89,158	59,215	65.4
27年3月期	110,316	60,246	53.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 58,327百万円 27年3月期 59,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期 期末配当35円00銭には、記念配当10円00銭が含まれています。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	20.5	6,000	26.5	6,500	18.4	3,500	15.9	105.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	34,700,000株	27年3月期	34,700,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,516,200株	27年3月期	1,516,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	33,183,800株	27年3月期3Q	33,183,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は平成28年2月1日(月)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当第3四半期連結累計期間(4月-12月)の概況]

売上高は71,628百万円(前年同期比144.3%増)、営業利益2,168百万円(前年同期は営業損失6,599百万円)、経常利益2,195百万円(同経常損失5,633百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益779百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失3,215百万円)となりました。

業績の主な要因は、下記のとおりです。

遊技機販売においては、販売台数は前年同期比43.7%増の220千台となりました。とくに、パチスロ販売台数は『エヴァンゲリオン』シリーズをはじめ複数のタイトルが寄与し、同164.6%増の93千台となりました。また、パチンコ販売台数は同7.4%増の126千台となりました。販売済み及び営業活動中の主なタイトルは下表のとおりとなっています。

<販売済み及び営業活動中の主なタイトル(平成28年1月29日現在)>

パチスロ遊技機販売タイトル	納品月
エヴァンゲリオン・希望の槍	平成27年6月
パチスロ バイオハザード6	平成27年7月
アスラズ ラース	平成27年9月
銀河機攻隊 マジェスティックプリンス	平成27年11月
ああっ女神さまっ	平成27年11月
エヴァンゲリオン 魂を繋ぐもの	平成27年12月
パチスロ 機動戦士ガンダム 覚醒-Chained battle-	平成28年1月
PACHISLOT NINJA GAIDEN (※)	平成28年2月
パチスロ ひぐらしのなく頃に 絆 (※)	平成28年2月

パチンコ遊技機販売タイトル	納品月
CRエヴァンゲリオン9 零号機暴走ループVer.	平成27年5月
CRミリオンゴッドライジング	平成27年7月
CR機動戦艦ナデシコ	平成27年8月
CR魁!!男塾	平成27年8月
CRエヴァンゲリオンX	平成27年9月
CR緑ドン 花火DEボ〜ンジョルノ	平成27年11月
CRミリオンゴッドライジング-ZEUS再び-	平成27年12月
CR天元突破グレンラガン (※)	平成28年2月

(注)「※」印は、平成28年1月29日現在、営業活動中のタイトルになります。

主なIP(知的財産)の創出・事業化の取り組みは、下記のとおりです。

当社グループは、中長期を見据えた成長戦略として、キャラクターやストーリーをはじめとするIPをクロスメディアで展開する循環型ビジネスを推進しています。

コミックスにおいては、『月刊ヒーローズ』を中心にクロスメディア展開を見据えたIP開発に注力しています。同誌掲載作品『ULTRAMAN(ウルトラマン)』については、単行本第7巻を刊行し、発行部数は第1巻から累計で200万部を超えました。また、『天元突破グレンラガン』については、クロスメディア展開の一環としてパチンコ機の営業活動(平成28年2月納品)を開始しました。なお、この他のタイトルについても、映像化プロジェクトやゲーム、パチンコ・パチスロなどへの商品化が複数進行しています。

映像メディアにおいては、『ウルトラマンX』の劇場公開が決定しました。なお、『ウルトラマンシリーズ』は、国内はもとより東南アジアにおいて、広告や商品展開を活性化させています。また、テレビメディアでは、平成28年1月より『アクティヴレイド-機動強襲室第八係-』及び『灰と幻想のグリムガル』の放送を開始しました。これ

らのタイトルは、今後、多様なメディアでの商品化を予定しています。

ソーシャルゲームにおいては、平成27年12月に2タイトルをリリースしました。現在は、既存タイトルも含めて収益性やゲーム性の改善に注力しています。なお、サービス中のタイトルは下表のとおりとなっています。

ライブエンタテインメントにおいては、引き続き『ウルトラマンシリーズ』を活用したヒーローショーや体感型ライブエンタテインメントショーを公演しています。今後は、国内はもとよりアジアの5つの国と地域で公演を予定しています。

<サービス中のソーシャルゲームタイトル（平成28年1月29日現在）>

ソーシャルゲームタイトル	サービス開始年月
AKB48ステージファイター	平成23年10月
AKB48の野望	平成25年1月
AKB48グループ ついに公式音ゲーでした。	平成26年5月
フリージング ヴァイブレーション 聖痕の翼	平成26年12月
アニマル×モンスター	平成27年3月
タワー オブ プリンセス	平成27年8月
ソウル・オブ・セブンス	平成27年12月
ガーディアンズ・ヴァイオレーション	平成27年12月

(注) 上表のソーシャルゲームタイトルには、ライセンス展開を含んでいます。

(注) 本短信に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、49,042百万円と前連結会計年度末比21,972百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、11,679百万円と前連結会計年度末比517百万円の減少となりました。これは主に土地の減少によるものです。

無形固定資産は、4,063百万円と前連結会計年度末比427百万円の減少となりました。これは主にソフトウェア仮勘定の減少及びのれんの減少によるものです。

投資その他の資産は、24,373百万円と前連結会計年度末比1,758百万円の増加となりました。これは主に長期貸付金の増加によるものです。

以上の結果、資産の部は89,158百万円と前連結会計年度末比21,158百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、25,478百万円と前連結会計年度末比20,295百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少及び未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は、4,464百万円と前連結会計年度末比167百万円の増加となりました。これは主に資産除去債務の増加によるものです。

以上の結果、負債の部は29,943百万円と前連結会計年度末比20,127百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産の部は、59,215百万円と前連結会計年度末比1,030百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8,364百万円増加し、24,188百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8,896百万円（前年同期は12,232百万円の支出）となりました。これは主に売上債権の減少35,093百万円、仕入債務の減少25,296百万円、法人税等の支払3,382百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,223百万円（前年同期は4,838百万円の支出）となりました。これは主に貸付けによる支出4,473百万円、貸付金の回収による収入1,594百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2,691百万円（前年同期は778百万円の収入）となりました。これは主に短期借入れによる収入4,860百万円、配当金の支払1,986百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	平成28年3月期 見通し	平成27年3月期 実績	前年同期比
売上高	120,000百万円	99,554百万円	20.5%増
営業利益	6,000百万円	4,743百万円	26.5%増
経常利益	6,500百万円	5,491百万円	18.4%増
親会社株主に帰属する当期純利益	3,500百万円	3,018百万円	15.9%増

通期連結業績予想については、平成27年4月30日発表の「平成27年3月期決算短信」のとおり、公表した内容に変更はありません。

とくに、遊技機販売においては、新たな規則に対応するのはもちろん、市場の活性化に資する遊技機を企画開発し販売すべく、提携メーカーとともに鋭意取り組んでまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載してい
ます。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しています。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ105百
万円減少しています。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,823	24,188
受取手形及び売掛金	45,888	11,229
電子記録債権	—	1,164
商品及び製品	239	437
仕掛品	1,414	3,012
原材料及び貯蔵品	83	198
その他	7,589	8,835
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	71,014	49,042
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,737	7,550
その他	4,459	4,129
有形固定資産合計	12,197	11,679
無形固定資産		
のれん	1,618	1,378
その他	2,872	2,685
無形固定資産合計	4,490	4,063
投資その他の資産		
投資有価証券	14,564	13,720
その他	9,079	11,673
貸倒引当金	△1,029	△1,020
投資その他の資産合計	22,614	24,373
固定資産合計	39,302	40,116
資産合計	110,316	89,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,850	10,382
短期借入金	4,014	8,874
1年内返済予定の長期借入金	42	11
未払法人税等	2,345	315
賞与引当金	378	97
役員賞与引当金	282	213
返品調整引当金	22	22
その他	4,837	5,560
流動負債合計	45,773	25,478
固定負債		
長期借入金	8	—
退職給付に係る負債	521	558
その他	3,766	3,905
固定負債合計	4,296	4,464
負債合計	50,070	29,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,994	7,994
利益剰余金	46,049	44,838
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	60,171	58,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△567	△542
為替換算調整勘定	△1	△2
退職給付に係る調整累計額	△109	△86
その他の包括利益累計額合計	△679	△631
非支配株主持分	753	887
純資産合計	60,246	59,215
負債純資産合計	110,316	89,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	29,317	71,628
売上原価	18,803	51,369
売上総利益	10,513	20,258
販売費及び一般管理費	17,113	18,090
営業利益又は営業損失(△)	△6,599	2,168
営業外収益		
受取利息	56	44
受取配当金	194	178
仕入割引	222	426
投資有価証券運用益	28	—
持分法による投資利益	455	—
その他	382	264
営業外収益合計	1,340	913
営業外費用		
支払利息	6	21
持分法による投資損失	—	676
出資金償却	163	123
資金調達費用	120	5
その他	84	58
営業外費用合計	374	885
経常利益又は経常損失(△)	△5,633	2,195
特別利益		
投資有価証券売却益	467	198
その他	11	40
特別利益合計	478	238
特別損失		
固定資産除却損	69	48
減損損失	1	—
訴訟関連損失	38	62
その他	2	4
特別損失合計	111	115
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△5,266	2,318
法人税等	△2,170	1,282
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,096	1,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	256
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,215	779

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,096	1,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△406	25
為替換算調整勘定	4	△0
退職給付に係る調整額	21	22
その他の包括利益合計	△379	47
四半期包括利益	△3,476	1,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,596	826
非支配株主に係る四半期包括利益	119	256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,266	2,318
減価償却費	1,502	1,624
減損損失	1	—
のれん償却額	245	245
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△62	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△301	△281
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△69
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	115	△122
受取利息及び受取配当金	△250	△222
持分法による投資損益(△は益)	△455	676
支払利息	6	21
投資有価証券売却損益(△は益)	△467	△198
固定資産除却損	69	48
売上債権の増減額(△は増加)	23,725	35,093
たな卸資産の増減額(△は増加)	△394	△661
商品化権前渡金の増減額(△は増加)	△419	946
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,428	△25,296
その他	△98	△2,048
小計	△10,498	12,064
利息及び配当金の受取額	222	235
利息の支払額	△5	△21
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,951	△3,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,232	8,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,438	△746
有形固定資産の売却による収入	380	629
無形固定資産の取得による支出	△1,196	△741
投資有価証券の売却による収入	828	216
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	652
関係会社株式の取得による支出	△48	△100
貸付けによる支出	△3,220	△4,473
貸付金の回収による収入	643	1,594
その他	△787	△254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,838	△3,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,510	4,860
長期借入金の返済による支出	△45	△38
配当金の支払額	△1,652	△1,986
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△24
その他	△33	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	778	2,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,292	8,364
現金及び現金同等物の期首残高	29,583	15,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,290	24,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。